

令和4年度 大阪府立茨木支援学校 第2回学校運営協議会【議事録】

令和4年11月22日(火)

場所：茨木支援学校会議室

時間：10時～11時

○出席者：協議会委員：5名

茨木支援学校：校長 准校長 教頭2名 事務長 指導教諭 教務部長 部主事3名
首席4名(うち1名は部主事兼務) 以上18名

○はじめに<事務局からの連絡>

司会(教頭)：本日はご多用の中お集まりいただきありがとうございます。新型コロナの感染者数が増えてきた状況なので、本協議会の開催も悩んだが、こうしてお集まりいただけてよかった。本日は感染対策として時間をコンパクトにして実施したいと考えているので、よろしく願いいたします。

○校長・准校長あいさつ

校長：本日はお集まりいただきありがとうございます。本校では、先週末3年ぶりの银杏祭を実施した。小6と中3の修学旅行も、無事実施できた。高3の修学旅行を控え、感染状況を見ると不安ではあるが、どうにか実施できればよいと思っている。

准校長：银杏祭では、保護者の方と時間と空間を共有する形で開催でき、子どもたちの成長と一緒に確認できたことを嬉しく思っている。

1 令和4年度学校経営計画進捗状況について

校長：GIGA スクール構想に基づく取組みを進めている。児童生徒に一人1台端末が準備され、肢体不自由の子どもにとっては使用が難しいところもあるが、先日の银杏祭では、聴覚障がいのある生徒が音声発生装置として使用していた。こうやってどんどん活用が進んでいくと期待している。学校引継ぎ訓練については、今年度の反省をもとに、教員からも実際の災害時に近い形で実施してはとの声があがり、次年度は、通学バスの運行に加え、デイサービスのお迎えを停止して実施する方向で検討している。保護者には多大な負担をおかけするが、ご協力いただきたい。

医療的ケアについては、現状、校内の手続きが煩雑なので、整理を進めている。

居住地校交流については、少しずつ取組みが進んできて、実施できるようになってきた。

校内外のスポーツ交流については、本校では同好会の扱いでまだクラブ活動の位置づけではない。今度サッカー大会に参加予定だが、充実のための取組みを進めたい。

昨日、大阪府下の支援学校での不適切な対応の報道があった。本校でも、校内での不適切な指導や発言がないかどうか、改めて洗い出しが必要と考えている。人権教育会議が主体となり、本校でもアンケート調査などを検討していく。

准校長：高等部にかかわる部分では、進路先の選択について。現在の高等部3年生においては、入学時からコロナの影響で長期休業があり6月からのスタートであった学年。1年生から2年生にかけて見学や実習が思うように進まないことがあったが、現在では進路先も少しずつ無事に

決まってきている。現時点で就労3名。

<質問、ご意見など>

会長：バスで取り残されて熱中症により死亡した事故、今朝も大々的に報道されていた不適切な指導について。どんな気持ちで市民はとらえられているのかなと私自身も気になる。この影響はとても大きい。本校で生じたことではないが、対岸の火事として見過ごすものではない。これを機会に先生方には一人ひとり問題意識をしっかりと持っていただき、学部で、学年で、もし学部が違っても、おかしいことは上にあげて行ってほしい。管理職の先生方はしんどい立場とは思いますが、よろしく願いたい。

委員：進路について、先生方も苦勞されていると思うが、企業就労について報告を受け安心した。昨日の報道については、なぜこのタイミングでこの報道があったのか不思議だが、自分事にとらえて対応していただくのはありがたい。当該児童と教員が校内で20分も歩いていたということ、指摘したのが保護者ということに驚いている。周囲の一緒に働く教員がその姿を見てどう感じていたのか。

校長：不適切な対応については、開示請求があり報道提供されることになった。

バスの件は、本校では出席確認の徹底、バス会社への注意喚起などをして対応している。

2 第1回 授業アンケート 授業評価について

<教頭より資料の説明>

- ・授業アンケートは参観週間に合わせて取っている。生徒は中高生が対象
- ・前年度はコロナ関係で分散の参観だったせいもあり、回収率が悪かったが、今年度1回目の7月は多く回収できた。
- ・2回目は感染状況を鑑みて12月5日～9日に分散で行う予定。
- ・質問事項は5つ用意している。回答の内、「そう思う」「だいたいそう思う」に回答されている肯定的な意見が80%だった。自由記述の中で色々な意見をいただいている。
- ・リモートで参加しやすくなったとか、プールに入れてよかったなどが肯定的な意見。
- ・改善しなければならない意見は、板書についてや、見通しが立ちにくい授業の進め方など。
- ・このようなご意見に関わる取り組みとして、「パッケージ研修」を活用して大阪府教育センターと連携して授業改善の研修を3年間継続して進めており、研究授業も実施している。
- ・新学習指導要領についても、3分間クイズなどの形で研究部が教員への理解の推進を図っている。
- ・その他の意見も資料の通り。毎月27日の体罰根絶の日の取り組みも、朝の連絡会で全員が意識するようになっている。

<質問、ご意見など>

会長：授業アンケートの趣旨は保護者に伝わっていると思うが、生徒の在籍人数に対して回収枚数をみると参観に来られた人にしか配っていないのか？

教頭：保護者には事前に全員に配布している。参観に来られた時に提出をお願いしている。一人で複数の授業を見られる保護者もいるので、枚数から人数は計れない。来ていても出されない保護者もいるのではないかと推測される。

校長：記入する手間や、「こんなん書いても全然変わらない」という意見も聞く。

PTA 会長：書く作業が面倒。それに時間を割けない。そのうち期日がきてしまう。

校長：アンケート自体の建付けが悪い、本来児童生徒に聞く内容なのに、保護者に回答してもらっているから、意図が薄まっている。

会長：何か手立てを考えていただきたい。

3 学校教育自己診断アンケートについて

<担当首席より>

○資料の説明

- ・生徒は学校の指導の下、学校で回収し、保護者は封をして提出していただく
- ・例年より1週間アンケート期間を延ばしている。
- ・分析結果を1月職員会議で報告し、第3回の運営協議会で報告

○昨年度からの変更点

昨年度と比較をするという観点で大きく質問項目を変えていないが、今年度、児童生徒用アンケート項目に加える内容として「児童・生徒一人1台端末の活用に関するもの」を追加するようにとの指示事項がある。その指示に伴い、教員用アンケート項目 No28 を ICT 機器の活用に関する内容に変更している。また保護者、生徒についても ICT 機器に関するアンケート項目を1つ増やした。

<質問、ご意見など>

委員：教員アンケート No17 も ICT 機器に関する質問項目となっているが、No28 との違いは？

首席：No 17 は校務に関すること、No28 は授業に関することを分けたつもりだが、たしかに No28 「授業など」の「など」の捉え方が様々かもしれない。説明不足だった。

校長：No28 「など」を削除して授業に特化してもよいのでは。

会長：一人1台端末の言われは？

校長：学校経営計画にも書いて、自己診断でも書いて活用に対しての肯定的回答を 90%に持っていきたい。活用することは良いこと。

会長：パソコンに精通し、使いこなせと言われると、自学と目的意識をもってやっていかないと、教育委員会が便宜を図ってくれてる、等の研修はあるのか？

校長：SSC 導入時期は教員向けの研修があった。本校では情報部が夏に教員向けの研修を行っている。教員の ICT 機器スキルが上がり、動画や授業で使えるようになってきている。追い風として、保護者もほぼみんなスマホを使えるようになってきているので、時代の後押しはある。また、コロナになり、ZOOM や動画編集し、教材として活用したりすることで、10 年前と比較して教員の ICT スキルは確実に上がってきている。

会長：子どもたちの家庭環境は変わっていないのでは。子どもの公教育環境は平等であってほしい。自分の持っている子どもはどうだろう？困っていることはないかな？という視点をもって、先生たちはかかわっていただきたい。

校長：コロナ不安で登校できない家庭には、校長会で言って、WI-FI 環境を整えるため、ポケット WI-FI などを貸し出すなど環境を整えていっている。家の状況によって勉強できないのはいけない

ので、現在は、教員の努力も必要となってくる。

4 使用教科書について

<教務部長より資料の説明>

今回お配りした資料は令和5年度使用教科書の選定一覧となっている。各学部、学年の先生方が生徒の実態を考慮したうえでしっかりと検討を重ねて選定した。「準ずる教育」に関わる教科書の選定について「全学部・全学年で採択するように」との留意事項があり、その点についても教科書係を中心に丁寧に選定を進めた。今後の流れとしては、採択通知が届き、来年度使用教科書の準備へと進む予定となっている。年度が変わる際には、教科書の紛失・所在がわからないなどのトラブルが起こらないよう、注意点の確認やよりよい改善策の検討も行っている。また、今年度初めに各学部で数名ずつ持ち帰り希望があったが、各担任が丁寧に対応・管理し今のところ大きな混乱などはない。教科書系の先生が中心となって教員全員で細心の注意を払いながら教科書を取り扱っていきたい。

<質問、ご意見など>

会長：教科書に関わる作業はとても負担が大きいが、保護者は子どもたちがどんな教科書を持って帰ってくるか楽しみにしている。よろしくお願いします。

委員：小学部4-3、5-3、6-3で同じ教科書「ねずみくんのチョッキ」が使用されているが、その理由は？

校長：学習グループが一緒なので、同じ教科書を使用している。

委員：高等部1年生で「数学Ⅰスタンダード」2年生で「数学Ⅱスタンダード」だが、3年生でまた「Ⅰ」に戻っている。何か理由があるのか。

教務部長：高等部1、2年生と3年生の学習指導要領が改定された境界線で複雑になっている。3年生は旧カリキュラムのため数学Ⅰの範囲を学習することになっているが、1、2年生に関しては新カリキュラムで表記の通りの順序で学習する予定のため、このような選定になっている。

委員：進路の同じ教科書が、なぜ分かれて記載されているのか。

教務部長：授業する際の展開グループで分けている。CとDは生徒が混ざることがある。

校長：週時間数が違い、同じ教科書を3つのグループがそれぞれ使用しているため一緒に記載することができない。

5 意見書について

教頭：意見書については、特にいただいていない。

6 その他

第3回学校運営協議会の日程については、1月末～2月にかけて行いたいと考えているが、詳細についてはまた改めてご連絡します。